

令和5年 第8回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和5年5月18日

仙北市教育委員会

令和5年 第8回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和5年5月18日（木） 午後2時

2 場 所 西木総合開発センター 2階 集会室

3 出席委員

教育長	須田 喬
教育長職務代理者	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	細川 伸也
委員	田口 桂一郎

4 出席した事務局職員

教育部長	草薨 郁太郎
教育次長兼学校教育課長	福田 裕司
教育次長	松橋 幸太郎
教育次長兼角館公民館長	佐々木 信介
教育総務課長	湯澤 満
学校適正配置準備室長	若松 正輝
学校適正配置準備室参事	毛利 俊介
北浦教育文化研究所長	門脇 貴一郎
総合給食センター所長	大石 基
生涯学習課長	武藤 寛幸
中央公民館長	高倉 正人
田沢湖公民館長	佐藤 文恵
市民会館長兼田沢湖公民館長	信田 昌史
学習資料館・イベント交流館長	真崎 智明
平福記念美術館長	小松 亜希子
平福記念美術館参事	高橋 百合子

5 議事

(1) 議案審議

議案第14号	令和5年度仙北市一般会計補正予算の教育費について
議案第15号	仙北市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例制定について

(2) 報告事項

報告第22号	仙北市教育行政報告について
報告第23号	令和5年度仙北市育英奨学資金奨学生の決定について
報告第24号	仙北市地域学校協働活動推進員の委嘱について

6 審議の経過及び結果

(須田教育長)

ただいまから、令和5年第8回仙北市教育委員会定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介します。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には齋藤課長補佐と上野課長補佐を任命します。署名員は、私と委員から細川委員を指名します。前回会議録の承認についてですが、田口委員におかれましては会議が終了次第署名をいただきます。

次に教育長挨拶ですけれども、本日は、私の方から2点報告させていただきます。1点目が、東北都市教育長会議に参加しての報告です。4月20日、21日に福島県郡山市で今年度の定期総会と研修会が行われました。研修会では、「部活動の地域移行に向けた取り組み」「不登校児童生徒への対応」「学校及び社会教育施設の老朽化対策」「小学校における専科指導の在り方」が協議されました。特に、その中で「部活動の地域移行に向けた取り組み」が話題の中心となり、多くの時間が割られました。先行して行っている教育委員会からの報告では、取り組みば取り組んだで課題がまた出てくる。簡単に地域移行はいかない。ただ、子どもたちからはとても喜ばれているという報告がありました。指導者の確保、指導者の報酬、謝礼等予算の確保、保険の問題、受け皿の整備、事故の責任問題等、どこの教育委員会でも同様の課題が山積していますが、いずれは地域移行をしなければならない状況です。特に、我が仙北市においては生徒減少により単独チーム編成が難しいという状況もあります。校長会とも連携を図りながら進めていきます。

2点目が、ヤマメ・サクラマスプロジェクトの状況についてです。菅原専門官と梁田アドバーによる市内企業訪問が始まりました。非常に好意的な企業が多く、その必要性を企業も感じているようです。子どもたちが職場体験や職場見学のまとめをする際に、企業のPRをする欄を設けることで、企業にとっても有益なものになるよう工夫していくつもりだそうです。

次に教育長の報告についてです。

－資料により説明－

次に審議案件等に入ります。審議案件、議案第14号令和5年度仙北市一般会計補正予算の教育費についてお願いいたします。

(若松学校適正配置準備室長)

はじめに学校適正配置準備室分からご説明いたします。資料2ページとなります。補正の内容は歳出予算、一つの事業でございます。角館小学校、白岩小学校統合関係事業費でございます。両校の統合に向けて、7月から統合準備委員会を組織しまして、協議を進めていくための委員報償費、費用弁償、それから事務消耗品費となっております。支出の対象となります委員は16名。合計6回分を見込んでおります。以上です。

(福田教育次長兼学校教育課長)

続きまして学校教育課から説明させていただきます。3ページとなります。歳入17款1項3目教育費寄附金は、昨年度開催された「坂本梅子 詩の世界展」で販売された詩集本の売上金を坂本さんの親族が寄附されたものです。歳出にありますように各学校で図書等の購入費に充当するため、角館小学校11,000円、その他の学校10,000円を計上しています。以上となります。

(佐藤田沢湖公民館長)

続きまして田沢湖公民館よりご説明いたします。資料の方は4ページ目をお開きください。こちらの予算の方は、田沢湖公民館の職員1名減による、会計年度任用職員1名分に関する補正予算となります。歳入の方雑入、雇用保険個人負担金ということで、14,

000円を計上しております。歳出の方はそれに伴いまして、報酬、職員手当、共済費が記載のとおりということで計上しております。以上となります。

(佐々木教育次長兼角館公民館長)

角館公民館の補正の要求になります。5ページをご覧ください。歳出の方になります。中央公民館の管理運営費といたしまして、東地区公民館の火災報知器増設となります。こちら4月7日の角館消防署の立ち入り検査におきまして、火災報知器の未設置部分がありまして、その指摘事項への対応となります。説明は以上となります。

(須田教育長)

議案第14号について、ご質問ご意見ありませんか。よろしいでしょうか。

－異議なし－

議案第14号について承認いたします。

続いて議案第15号仙北市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例制定についてお願いいたします。

(武藤生涯学習課長)

生涯学習課です。仙北市社会教育委員に関する条例の一部を次のように改正する。第2条中の15人の次に、「以内」を加えるということです。今は15人が定数になっていますが、不測の事態が生じた場合、今のままですと欠員という状態が発生してしまうので、それを防ぐために、「以内」という文言を加えようとするものです。説明は以上です。

(須田教育長)

何かご質問ありますか。よろしいでしょうか。

－異議なし－

議案第15号について承認いたします。ありがとうございます。

では、報告事項に入ります。報告第22号仙北市教育行政報告についてお願いします。

(草薨教育部長)

報告第22号仙北市教育行政報告について、令和5年第3回仙北市議会定例会において報告する概要を説明いたします。11ページをご覧ください。

学校適正配置準備室からは2点です。最初に学校適正配置の取り組みについてです。今年度、市内全ての小・中学校、保育園で学校適正配置方針の進め方について説明し、人数の望ましい規模のアンケートも実施しました。今後、望ましい規模と配置のあり方などについて、市民意見交換会を開催し、適正配置を進めます。次に角館小学校と白岩小学校の統合についてです。両校の統合に向けて、7月上旬に両校関係者で組織する「統合準備委員会」を設置し協議を開始いたします。

学校教育課からは3点です。最初に大曲仙北中学校春季体育大会などの主な結果についてです。4月から5月にかけて、開催されました大会での主な結果について報告いたします。次に角館婦人会からの寄贈についてです。角館婦人会から角館地区小・中学校の教育環境充実に役立ててほしいと300万円の寄贈がありました。3点目は大曲仙北中学校陸上競技大会の開催についてです。一昨日及び昨日に開催されました大会での頑張りの結果について、現在、各学校からの報告を取りまとめている最中です。主な結果について報告する予定です。

生涯学習課からは2点です。最初に二十歳の集いについてです。今年度の二十歳の集いは、8月15日に市民会館で開催することとしました。次に寄附についてです。株式会社万景さんから、テニスの普及、市民の余暇活動の充実を目的とし、老朽化で使用を中止している外ノ山テニスコート2面の改修工事一式の寄附がありました。

学習資料館・イベント交流館からは展示会についてです。新潮社記念文学館で、故高井

有一先生の展示会を行いました。ご家族から新たに寄贈された書簡などの資料を中心に展示し、会期中の入館者数を報告します。また、6月1日から8月23日まで、大仙市出身の絵本作家、藤島えみこ氏の展示会を開催しているのです。是非ご覧くださいと報告する予定です。教育行政報告の概要は以上です。

(須田教育長)

何かご質問ご意見ありますか。

二十歳の集いが、8月15日の午後ですので、ご参加の程よろしくお願いたします。また、先ほど報告がありました万景さんからの外ノ山テニスコートの改修工事一式の寄附ということで、1千万円かかるテニスコートの整備をしてくれるということで、本当にありがたかったです。贈呈式には私も出席いたしました。よろしいでしょうか。

では、報告第23号令和5年度仙北市育英奨学資金奨学生の決定についてお願いたします。

(湯澤教育総務課長)

報告第23号令和5年度仙北市育英奨学資金奨学生の決定について報告いたします。議案綴の15ページをご覧ください。5月1日に開催しました仙北市育英奨学資金運営審議会を経まして、今年度新たに9名の方々が、記載のとおり令和5年度の奨学生として決定しております。貸与期間についてですけれども、8名が4年間、1名の方が大学2年生からということで、3年間となっております。報告は以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

(橋本委員)

申し込みされた方は全員、対象なっているのでしょうか。

(湯澤教育総務課長)

申請を受付けた方9名についてこのように決定したということになっております。ただし、9名の方以外に3名の方から申出がありましたけれども、所得基準のところ、世帯所得500万円という基準がありまして、そちらを超えるケースが3件ありましたので、受付の段階で、受付できない旨お話しして、ただそれで終わるのではなくて、当然お困りだと思いますので、担当の方でも、該当しそうな、申請できそうな他の奨学金を調べまして、3名の内2名については「こういった奨学金がありますよ」ということで、1日2日後あたりに電話で紹介をさせていただいたところです。以上です。

(須田教育長)

その後、事務局で話し合いをしましたけれども、以前、非常に多くなって基準を高くした経緯ありましたけれども、今の状況が続くと人数が少なくなってきた場合に、ヤマメ・サクラマスプロジェクトも関係するので、もうちょっと数年状況を見て、この基準は内規ですので、どうするかについて検討していこうと話し合いをしたところでもあります。

その他ありますか。

(田口委員)

基金が財源になっていると思いますけれども、現在の基金の状況とといいますか、充分ある状況なのか、毎年一般会計から繰り入れしている状況なのか。そこら辺簡単に結構ですので状況をできる限りお願いたします。

(湯澤教育総務課長)

基金の状況ですけれども、貸与する金額と返還していただく金額が、毎年プラス、マイナスあるわけですけれども、この3、4年前と比べると、現状としては、年々基金の方、貸与できる金額が増えてきております。ということで先ほど教育長からもお話ありましたけ

れども、まず今年度、基準等について見直しをしていきたいと考えているところです。
(田口委員)

一般会計から繰り入れしなくても、やり繰りできているということですか。

(湯澤教育総務課長)

はい、そうです。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

それでは、報告第24号仙北市地域学校協働活動推進員の委嘱についてお願いいたします。

(武藤生涯学習課長)

資料の17、18ページをご覧ください。こちらの25名が4月1日現在の推進員の方々です。全員が昨年度に引き続き再任となっています。詳しくは後をご覧ください。報告の説明は以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

その他に入ります。いじめ、不登校対策についてお願いします。

(門脇北浦教育文化研究所長)

4月のいじめ・不登校の状況について報告をいたします。

最初にいじめについてです。4月は11件でした。

次に、不登校児童生徒についてです。小学生2名、中学生13名、計15名となっております。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

それでは、教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてお願いいたします。

(湯澤教育総務課長)

別冊の資料をご覧ください。令和5年3月16日開催の第6回仙北市教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてです。

－資料により説明－

誤字脱字等ありましたら、私の方まで教えていただければと思います。説明は以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。それでは、学校適正配置準備室からお願いします。

(若松学校適正配置準備室長)

それでは、学校適正配置準備室から3点報告させていただきます。

1点目は、市全体の適正配置に向けた取り組みについてです。資料をご覧ください。4月から5月にかけて、全ての小・中学校PTA及び保育園・子ども園の保護者会、合計19か所に出向いて、3月に策定した学校適正配置方針の説明とその方針の中で示した一定の集団を確保できる望ましい学校規模に関して、具体的な意見や考えをお伺いしました。説明の時間は学校や園の都合により、15分から30分の間で行っています。時間が限られていることや欠席者が相当いらっしゃるということで、意見を聞く方法については、欠席者も含めて全保護者を対象に、アンケート方式により行ったところがございます。まだ3園が未集計のため、確定した報告については今後となりますけれども、ある程度傾向が見えてきましたので、現時点の集計分を速報版として、担当の毛利から報告いたします。

(毛利学校適正配置準備室参事)

現時点でのアンケートの結果速報について説明いたします。一番上にピンク色のライン

が入っているもの、これが小学校の規模について答えていただいたものです。答え方としては3通りありました。何人くらい。何人から何人。何人以上。入力仕方としては、何人くらいと答えた方については、その数字を中心として、プラスマイナス2。10人くらいとしたら、8、9、10、11、12。ここくらいの範囲としました。何人から何人はそのまま、その数字のと通りの範囲で入力しています。何人以上もその数字のと通りの入力です。また、何人とピンポイントで人数を書いている方もいましたので、それはその1点のみの入力だけでグラフ化しております。それでは、各地区毎のグラフについて説明します。

まず角館地区、小学校の保護者はまんべんなくグラフは散らばっておりますが、50人から60人のところにかけてグラフが盛り上がっております。これについては自由記述にもありましたが、複数クラスあった方が良いという考えから、この人数になっているようでした。一方中学校の保護者は、25人から30人に1つの山となり、そして一番最後80人。回答としては、80人以上もしくは100というふうに、グラフをはみ出た人数を書いていた方もいましたので、そこはまとめて80のところに入力しています。角館地区中学校の保護者は、この2つの山がありました。続いて真ん中の田沢湖地区です。こちらは小学校の保護者、中学校の保護者どちらも同じ傾向です。20人から30人くらいのところに大きな山ができています。そして一番下の西木地区。こちらも田沢湖地区と同じように20人から30人、もしくは20人くらいのところで山ができています。小学校の規模だけを見て考察いたしますと、角館地区は複数クラスを考えている保護者が多い。そして田沢湖地区、西木地区では、20人から30人くらいいると学校として、子どもたちがより良く学べる、より良く過ごせるというふうな考えが見えてきます。また園については、角館地区と田沢湖地区はまだ未集計ですが、西木地区については小・中の保護者と同じように、園の保護者も20人から30人くらいの規模が望ましいと考えていることが、グラフから分かりました。

続いて2枚目の今度は、一番上水色のラインが入っているもの、これは中学校の望ましい規模について答えてもらったものです。一番上の角館地区の小学校の保護者は山が二つあります。先ほどと同じように50人から60人のところ、そして、80人以上のところ最も高くグラフが伸びています。中学校の保護者は先ほどと同じように、20人から30人のところで一つ目、そして、80人以上のところ、また一つのグラフの伸びがあります。田沢湖地区、西木地区については、小学校の規模と同じ規模を望んでいる結果となっています。ここから見えてくるのは、やはり角館地区の保護者の方々は、複数クラスを望んでいる。これは自分たちの経験によるのか、それとも今現在、子どもたちが経験していることを基に答えているのか、どちらかだと思うのですけれども、田沢湖地区、西木地区は、1クラスの人数を増やすという傾向が強いようにグラフからは読み取れます。また角館地区は、小から中に上がりますと、別の小学校から集まって来て、1クラスの規模が増えるという経験がありますが、田沢湖地区、西木地区は、小学校の人数がそのまま中学校に行くというような形になっているので、おそらく小から中にかけて人数が増えるというような答え方は少ないのではないかと考えました。現に先ほど最初に説明した小学校の1ページ目と中学校の2ページ目を並べて比べてみますと、角館地区小の保護者は、80人以上のところではあまり伸びはありませんが、中学校規模の方の小の保護者は80人以上となっているので、やはり先ほど申し上げました、中学校に行くとな人数が増えるというような感覚でいる方が多いのだと思います。また、中学校ではやはりなぜこの人数にしたのかという理由に対しては、部活動を挙げている方が結構いました。また昨年度のアンケートで分かっていたことですが、多様な交流・学び、そういったことを期待して人数を答えている方もたくさんいました。今後園のアンケートを回収しましてグラフ化し、こ

の後、行う予定の意見交換会にも活かしていきたいなと思っております。アンケートの説明は以上です。

(若松学校適正配置準備室長)

それでは、2点目の報告をいたします。角館小学校と白岩小学校の統合についてです。7月上旬に両校関係者による統合準備委員会を設置しまして、統合に向けた協議や準備をスタートさせる予定でおります。それに先立って、事前の打ち合わせ会を今月30日に、両校の校長先生、教頭先生、それからPTAの役員で行う予定です。打合せでは委員会組織の検討、委員候補者の人選、それから会がスムーズに進行できるよう、あらかじめ協議が必要な事項の整理を行う予定でおります。

最後3点目ですが、今後の予定についてです。7月の上旬から中旬にかけて、昨年同様に各小学校体育館で市民意見交換会を開催する予定です。現在、日程調整中でして、決定しましたら、7月1日の広報せんぼく、ホームページ、ライン配信で周知を図るほかに、学校と園の保護者には、直接お便りでもお知らせしたいと思っています。内容は先ほどの保護者アンケート結果による望ましい学校規模を踏まえて、地域住民の皆様と望ましい規模と配置の在り方、またその実現に向けた具体的な方策について意見交換を行いたいと考えております。できるだけ意見を活発に述べ合って、みんなで考える機会にするために、グループワークの手法を取り入れるなど、工夫をしたいと思っています。その後7月下旬頃に学校適正配置検討委員会を開催したいと考えております。適正配置準備室からは以上でございます。

(須田教育長)

学校適正配置に関して何かご質問ご意見ありますか。よろしいでしょうか。

その他ございますか。

(橋本委員)

令和5年度の就学援助費の支給計画書の資料ありがとうございました。大変分かりやすくまとめていただいてありがとうございます。それから1点ですけれども、連休明けコロナの発生が増えるのではないかと懸念されていましたが、市内の小・中学校の状況はどういうものでしょうか。

(福田教育次長兼学校教育課長)

ゴールデンウィーク明けですけれども、4月の状況と大きく変わったことはありませんでした。各学校で多い時で、大体コロナで休んでいる生徒は5名というような状況でした。そして5月8日以降、感染症5類移行ということで、その集計は行わないということで、休業等必要となるような状況が生じる可能性がある場合は、学校さんの方から報告をいただくことになっています。以上です。

(須田教育長)

現在は落ち着いていますよね。

(福田教育次長兼学校教育課長)

はい。最近いただいたところでは、報告の義務等はありませんけれども、1名出たとかというような形で、複数名という話は聞いております。

(須田教育長)

市民会館お願いします。

(信田市民会館長兼田沢湖図書館長)

皆さんの方にチラシ配布させていただいておりますけれども、今年度も仙北市民会館の自主事業といたしまして「海上自衛隊大湊音楽隊コンサート」を来月の6月10日に行います。お時間のある方、是非いらしていただきたいと思っております。

(須田教育長)

真崎館長お願いします。

(真崎学習資料館・イベント交流館長)

皆さんのお手元にあります「藤嶋えみこ 絵本の世界」を6月1日から8月23日まで開催いたします。現在、開催しております「高井有一展」は本日で終了いたします。長い間、皆様ありがとうございました。この後、展示替えをいたしまして、6月1日から始まりま
す。藤嶋えみこさんは、大仙市の旧仙北町の方です。旧仙北町に拠点を置き、アートワークや絵本の原画などで活躍しております。非常に可愛らしい絵画を描く方ですので、是非皆様ご覧いただきたいと思
います。よろしく願いいたします。

(須田教育長)

湯澤課長お願いします。

(湯澤教育総務課長)

教育委員の皆様へ通知の方お渡ししてあったかと思いますが、7月7日に東北六県の市町村教育委員会連合会の研修会がありまして、全日程といたしましては、7月6、7日とあるわけですが、7日(金)大館市の方で講演会、行政説明等がありまして、こちらのご案内がきていますので、委員の皆様ご都合がつかましたら、ご参加いただければと思います。ご参加される方につきましては、とても朝が早いですけれども、朝7時西木庁舎集合、出発ということで、公用車で、教育長と一緒に私たちと大館の方に行っていただきたいと思
っております。出欠につきまして、5月26日(金)まで教えてくださるようどうかよろしく願いいたします。以上です。

(須田教育長)

その他ありますか。よろしいでしょうか。

それでは、これで令和5年第8回仙北市教育委員会5月定例会を終わります。ありがとうございました。

(閉会宣言：午後2時35分)